

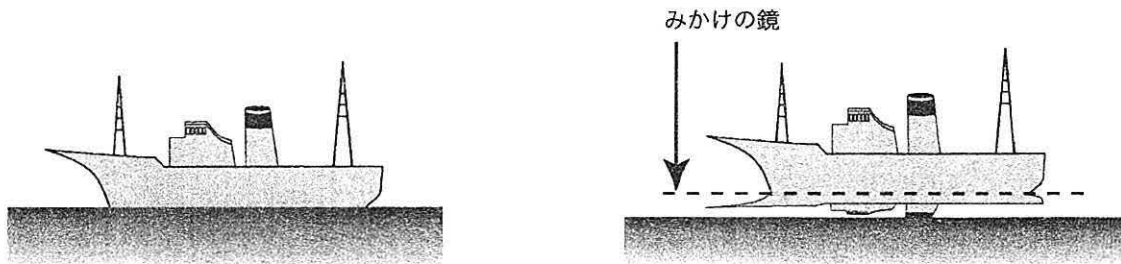
日の入りのしんきろう

冬のしんきろう

いつもより少しずしいと思う日、海岸に出かけてみてください。むこう岸の風景がいつもと変わっていることがあります。

水平線の少し上に、まるで鏡をおいたかのように、ほんとうの景色の下にさかさの像ができていたら、それは、まちがいなく、しんきろうです。

これはサバクのしんきろうと同じでかたのものです。初めて話題になった頃、冬によく観測されていたため、「冬のしんきろう」という名前がついています。



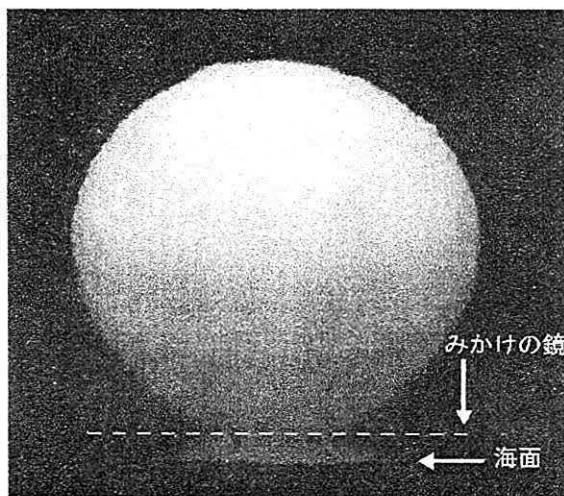
もともとのようす

冬のしんきろうに変身！！

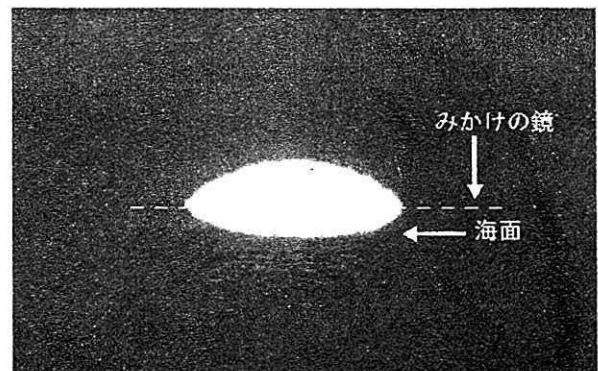
日の入りのしんきろう

冬のしんきろうの仲間に「日の入りのしんきろう」があります。日の入り直前、みかけの鏡（下の写真の点線）によって太陽の下の部分にさかさの像ができて、だるまのような形になったり、太陽の上の部分のさかさの像ができて、ラグビーボールのような形になって見えることがあります。

(2009年11月 吉村 博儀)



だるまのような形になったもの



ラグビーボールのようなかたちになったもの